

# そらこめ通信

No.25 2012.08発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。  
7月中旬、梅雨前線の影響と思われる大雨が九州地方各地に大きな被害をもたらしました。特に、九州北部の福岡や大分、長崎の各県では河川の氾濫による家屋の浸水やがけ崩れなどが相次ぎ、その後も九州全土で局地的な豪雨が頻発している旨の報道がなされています。今回被害を受けられた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、九州地方の大雨災害の報道の中にあつて、ここ北海道空知地方は6月から近年にない少雨の状態が続いています。ここにきて農作物への影響も少しずつ出始めており、特に畑作農家にとっては悩ましい状況が続いているようです。

気象庁のホームページにとても興味深いデータがあつたので紹介します。降水量そのものは年々減少傾向にあるものの、最近の30年間(1977～2006年)と20世紀初頭の30年間(1901～1930年)の全国51地点における降水量の比較データでみると、一日100mm以上降った日数は最近の30年間が20世紀初頭の1.2倍、200mm以上降った日数は同1.4倍の出現頻度とのこと。さらに、平均的な年々の変動幅(標準偏差)が増大しているとの分析もあります。分かりやすく解説すると、平年比80%程度の少雨の年が近年増える一方で、120%程度の多雨の年も増えているという事だそうです。

降るときは人的被害をもたらすくらい降り、降らないときは全く降らない…。年によって、また地域によって極端な状況が表れやすい傾向にあるという事です。どうなる地球！どうなる我が愛しの日本！というところでしょうか。

水利使用標識	
施設名	大枝沢貯水池
河川名	石狩川水系南支流沼田川(沼田川)コンクリート管架設施設
許可年月日・許可番号	平成19年11月12日 河川第1046号指令
許可期限	平成28年3月31日
許可権者名	北海道知事
水利使用者名	沼田町土地改良区
水利使用の目的	かんがい用
取水量	614,000m <sup>3</sup>
貯水量	11,50ha
かんがい面積	11,50ha
取水施設管理番号	南支流沼田川南1条3丁目6番53号 沼田町土地改良区



地域の「水がめ」大枝沢ダム～近隣の農地にとってかけがえのない施設です

水神宮祭の前に堤体の草刈(6/29)



水神宮祭の準備をする人達(6/29)



水神宮祭の「のぼり」(6/29)



水神宮に参拝する宮司さん(6/29)



頭を垂れる地元の人達(6/29)



農作業の合間を縫って近隣施設の草刈作業(7/2)



今年の大雪で折れた枝の後片付けと周辺の草刈作業(7/2～7/3)



グループ企業が所有している土地～委託を受けての作業です(7/3、7/11)



水田の状況と出穂した稲穂(白いおしべが見えています)(7/22)



エメラルドグリーンが鮮やかなアオイトトンボ(7/22)



葉の上に鎮座したカエル君(7/22)



ソバ畑とソバの花～結構きれいです(7/22)



稲の葉の中から幼穂が現れることを出穂(しゅつすい)といいます。白いひげのようなものは「おしべ」で、ひとつの籾から6本出ます。「おしべ」が出るときに花粉が飛び、同じ籾の中の「めしべ」に受粉します。自然が持つ神秘。出来秋に期待です。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です